

症例募集

登録受付期間 2022年12月1日(木)~2023年1月31日(火)正午まで
KCJLホームページよりご登録いただけます。 <https://www.kcjl.gr.jp/2023/>

発表形式 パソコンでのスライドを利用した口述発表

募集カテゴリー 1. Coronary Challenging Case
2. EVT Challenging Case

応募方法

受付期間内にフォームからご登録いただき、査読用 PowerPoint スライドをご提出ください。

1. 登録フォームに必要事項
(応募カテゴリー、演題、演者、共同演者、所属施設、200字程度の抄録)を入力してください。
2. 登録完了時にお送りする確認メールに記載の Dropbox へ、
登録症例内容をまとめたPowerPoint スライド(10枚以内)のアップロードをお願いします。
PowerPoint スライドについても、受付期間内にご提出をお願いいたします。


採択発表

症例の採否、発表形式の詳細につきましては、2月下旬頃ホームページに掲載いたしますのでご確認ください。
症例の採否は世話人に一任となりますのでご了承願います。

採択された演者は KCJL2023 の参加費無料!
優秀症例に選ばれると、Faculty of the yearとして KCJL2024 に招聘!!

会場アクセス



 KCJL事務局
〒440-0886 愛知県豊橋市東小田原町48 セントラルレジデンス201
TEL:0532-57-1278 FAX:0532-52-2883 E-mail:kcjl@kcjl.gr.jp

近畿心血管治療ジョイントライブ2023

KCJL2023

開催日

2023.4.13(木) - 15(土)

メインテーマ

Quality created by Technology and Mind

会場

ナレッジキャピタル
コングレコンベンションセンター
〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪北館 B2F

代表世話人

岡村 篤徳 (桜橋渡辺病院)
小林 智子 (京都桂病院)
小山 忠明 (神戸市立医療センター中央市民病院)
辻 貴史 (草津ハートセンター)
浜中 一郎 (洛和会丸太町病院)
吉川 糧平 (三田市民病院)



<https://www.kcjl.gr.jp/2023/>



KCJL2023

“Quality created by Technology and Mind”

KCJL2023 開催にあたって

2020年に端を発したコロナ禍により、心血管治療を取り巻く世界も一変しました。

あらゆる学会・研究会がWEB配信となり、自宅に居ながらにして新たな知見を得られる一方、会員同士の配信にのらない生の経験談を直接聞く機会が奪われてしまいました。

KCJL2023では4年ぶりにオンサイトでの開催を企画しました。SHDも含めたライブデモンストレーションを含め、各テーマに最新のTechnologyはもちろんのこと、治療に携わる者のMindを込めて開催いたします。

会場の至る所で活発な討論ができ、参加者の皆さんとともに学びあえる会にしたいと考えています。

皆様方のご参加、ご協力をお願い申し上げます。



Honorary Advisor	Honorary Member	Coronary 世話人	Surgical 世話人	Co-medical 世話人
上田 欽造 (高瀬クリニック)	赤阪 隆史 (和歌山県立医科大学)	石原 昭三 (耳原総合病院)	岡本 一真 (近畿大学医学部)	騰 由香 (神戸市立医療センター中央市民病院)
大辻 悟 (東宝塚さとう病院)	上田 恭敬 (国立病院機構大阪医療センター)	岡田 正治 (淡海医療センター)	畔柳 智司 (岸和田徳洲会病院)	井野 裕也 (京都桂病院)
志手 淳也 (大阪府済生会中津病院)	瓦林 孝彦 (多根総合病院)	片岡 亨 (ベルランド総合病院)	鈴木 友彰 (滋賀医科大学)	大竹 陸希光 (大阪警察病院)
中村 茂 (京都桂病院)	許 永勝 (草津ハートセンター)	木下 法之 (康生会武田病院)	西 宏之 (国立病院機構大阪医療センター)	木下 博子 (岸和田徳洲会病院)
西田 育功 (高清水高井病院)	坂上 祐司 (清惠会病院)	全 完 (京都府立医科大学)	沼田 智 (京都府立医科大学)	塩田 裕啓 (ミナミ整形外科・内科循環器科)
夜久 均 (京都府立医科大学)	中川 義久 (滋賀医科大学)	滝内 伸 (東宝塚さとう病院)	村上 博久 (兵庫県立はりま姫路総合医療センター)	高垣 勝 (滋賀県立総合病院)
	南都 伸介 (西宮市立中央病院)	藤井 健一 (関西医科大学)	山田 慎一郎 (北播磨総合医療センター)	辻本 紘史 (藤生会総合病院)
	西野 雅巳 (大阪労災病院)			徳永 政敬 (東宝塚さとう病院)
	矢坂 義則 (公立豊岡病院)			野崎 暢仁 (高の原中央病院)
				深田 陽平 (三田市民病院)

CTO Course

13日(木)午後、草津ハートセンターからCTOライブを放映します。このセッションでは、通常のライブと違い、1例のCTO症例にフォーカスして、治療の経過すべてを見ていただきます。スーパーバイザーに加藤修先生と大辻悟先生を迎えて、術前の治療戦略、各局面における最善の手技選択などをディスカッションしながら、手技成功を目指します。また、最新のCTO治療のトピックをミニレクチャーで紹介します。皆様のご参加をお待ちします。

Advance Intervention Theater

Advance intervention theaterではこれまでと同様に、皆さんが直面すると想定されるComplex caseをpick upし、その症例毎に課せられたmission(分岐部、石灰化、CTO病変など)を各術者がどう克服していくかを見て頂きます。14日(金曜日)は三田市民病院、15日(土曜日)は京都桂病院と洛和会丸太町病院からLive demonstrationをお届けする予定です。新しいデバイスや技術を駆使して、tips等解説を交えてlive中継出来ればと思っています。

Theme Live Theater

Coronary 石灰化病変、分岐部病変、びまん性病変、CTO病変など日常臨床で遭遇する様々な病変に対し、各症例ごとにテーマを決めて治療を行います。また、各テーマに沿ったレクチャーも準備し、若手の先生のみならず多くの先生方にとって学びのあるライブにしたいと思います。

Peripheral Theme Live Theaterでは今年もPeripheral Intervention Liveを行います。wireや手技の向上にともないCTO病変へのwire通過成功率は100%に近くなり、エンドポイントの決定や評価が重要となっています。解剖学的評価に加えて機能的評価を行うことにより急性期および慢性期成績を向上させることが次の目標となっています。さらなる高みを目指したインターベンションをお見せします。

SHD SHDとりわけ重症大動脈弁狭窄症に対するカテーテル治療であるTAVRは一般的な治療になりつつあります。しかし特に技術的なディスカッションをリアルタイムにできる機会は少なくLive demonstrationの果たす役割がますます重要な領域です。KCJLで初めてTAVRライブを行います。バルーン拡張型バルブ(Sapient)と自己拡張型バルブ(Evolut)を留置する二症例について実臨床に即した議論を交えながらさらなる技術の向上を目指します。

Discussion Theater

KCJL恒例のディスカッションシアターを今年も開催します。本セッションでは、ライブでは伝えることの出来ない様々なテクニックや明日からのインターベンションに使える知識を参加者の皆様とともにディスカッションするセッションです。奮ってのご参加をお待ちしています。

Educational Theater

今からインターベンションを始める先生から中堅の先生方までを対象に、実臨床で活躍中の先生方に講師をお願いして、幅広い内容で構成させていただきました。インターベンションの分野も、未だ多くの学びがあります。ライブでは学べない部分も多く提供できると思いますので、ふるってご参加いただけましたらと思います。

Surgical Theater

Surgicalは4月15日(土)に開催します。手術ビデオで手技を深掘するビデオライブですが、今回のテーマはCABGとしました。やはり心臓手術の基本手技であり、特に手術を始める、または始めたばかりの若い先生が知っておくべき手技やトラブルシューティングを豊富に盛り込む予定です。ランチョンセミナーでは新たに市場に出てきたフレキシブルバンドのSimuPlusを用いた僧帽弁形成でのリングの有用性について詳細な検討の報告をお願いしています。午後からは2つのスポンサーセッションを設けています。1つ目はMICS-MVRの基本的な手技を抑えてもらい、2つ目は新進気鋭の若手の術者の先生に急性大動脈解離の手術のポイントについて講演してもらいます。MEセッションでは心停止手術の最も重要な心筋保護について代表的な方法を経験豊富な施設より発表してもらいます。そして今回は難渋した症例のかわりに最近増加傾向にある成人先天性心疾患の手術について代表的な疾患について3名の演者に発表していただきます。最後のイブニングハンズオンセミナーはビデオライブのテーマでもあるCABGのウェットラボを行う予定です。静脈グラフトの中核吻合キットも用意しますので若手の先生はぜひふるってご応募ください。多くの方と有意義な時間が過ごせることを楽しみにしています。



Co-medical Theater

カテ室に役立つ基礎知識

さぁ!春です!この季節たくさんの初々しい若手スタッフがカテ室に飛び込んできます!今年もKCJLでは冠動脈の解剖からPCIデバイスのいろいろまで知っておいてほしい基礎をみっちり4時間!新人さんの勉強にと言いつつ先輩も復習してみませんか?新しい発見があるかも。

看護師のキャリアを考える

看護師として働く上でモチベーションはとても大切だと思います。自分のキャリアを形成するとはどういうことなのか、先人の歩んできた歴史を学ぶことにより自分のキャリアについて考えていただくセッションです。

循環器領域の生理検査ってどんなもの?

生理検査は検査技師さんの専売特許!でも検査から得られるデータはみんなのもの!患者さんが安全に治療を受けるためには私たちメディカルスタッフがその情報を知っておかなくてはなりません。プロの検査技師さんに知っておくべき所見の見方、注目すべきポイントについて、すべての職種にわかるように解説していただきます。

カテーテル治療の進化を辿る 1: デバルキング

風船で膨らませる治療が始まってから40年余り。今のPCIはあの手の手のデバイスが沢山あります。いい物を、上手く使う。そのためにはスタッフがデバイスを知っていることが大切です。私たちメディカルスタッフもデバイスを知り、起こりうる合併症を知ることによって、適切に安全にデバルキングデバイスを使おう!

PVC ablation で必要な解剖ってどんな?

Sound Starで、あんなことやこんなことまで見えちゃう♡今までなんとなく分かったつもりになっていた解剖を、Sound Starで徹底的に覗いて見ちゃいました♡これさえ聞けば、PVCなんて怖くない!

カテーテル治療の進化を辿る 2: 外科領域との融合

カテ治療も日々日々進化を遂げています。内科領域と外科領域の融合によって、より低侵襲に、より治療効果の高い治療が次々と登場しています。私たちも内科領域から飛び出して外科領域とのコラボできるスキルが求められます。まずはどのような治療があるのか知っておきましょう。

EVT を学んでみない?

EVTが今、熱い!患者さんは歩くことに不自由を感じているところから、EVTを受けることによって、歩きやすくなった実感を得る。患者さんの喜びは大きい。そんな治療に関われることの喜び。EVTを知ることによって更なるやりがいを感じましょう。今回はシャントPTAについても一緒に学んでみましょう。

合併症からのリカバリー

私たちカテ室のメディカルスタッフは、合併症からのリカバリーのためにいるといっても過言ではありません。カテ室には各セクションのプロフェッショナルが揃っています。カテ中にどうしても起こりうる合併症から患者さんをチーム力で守る。合併症の予測からリカバリーまでをカテ室のプロフェッショナルが語ります。

さぁ、みんな、論文を書こう!!

なぜ論文を書くの?と言うあなた!!書きたいけど、どうしたらいいのかわからないあなたへ、きっと何かヒントが得られるに違いありません。吾手分野を克服して、自分達の医療を次世代に伝えていこう!!

看護総集編 ① PCI編 / ② PPI編 / ③ ABL編

心臓カテーテルにおける看護師は、さまざまな知識が要求されます。経験者は自分の中で整理ができていたり、自施設のルーチンに慣れている方もいたりするかもしれませんが、ここでもう一度カテ看護総集編でカテーテル看護の基礎をしっかり学んでカテ看護力アップに繋げましょう。

心臓カテーテル室の医療安全を考える

心臓カテーテル室では、スタッフ不在、口頭指示、緊急など、医療安全的に危険な場面がよくあります。改めて医療安全について考えましょう。

看護師のタスクシフトを考える ~直接介助セミナー~

近年、タスクシフト・シェアが提言され、造影剤の投与、圧迫止血が可能となっています。看護師として清潔介助に入った経験者の話を通じて、看護に結びついた一例を報告します。その後にもみんなでディスカッションしていきたいと思います。

心電図パーフェクトレクチャー

心電図と聞くだけでどこを見ればいいのかわからない!「不整脈を見落としたりどうしよう!」なんて苦手意識を感じていませんか?このセッションを通じて基本とコツをつけて、「心電図って面白い!」もっと勉強してみよう!と気持ちを切り替えてみませんか?ECGブラボー!って思えるようになりましょう。

最大限に活用する遠隔モニタリング管理

看護師、臨床工学技士のスペシャリストに自施設の遠隔モニタリングを活用した患者管理、心不全管理についてお話し頂き、ディスカッションを行います。

さらなる高みをめざす心臓電気生理学

~ EPS の重要性、その道理から最新のトレンドまでを知る~

ペーシング手技(ペースト、エクストラ、エントレインメント、PPIなど)を中心にスペシャリストがお届けする教育セッションです。ラボデータを元にあらゆるポイントを解説。

Imaging 最前線

イメージングの世界はここまで進んです!IVUS、OCT/OFDIについてそれぞれの特徴や臨床での活用方法、tips and tricksを紹介!明日からどんどん活用できる内容が盛りだくさんです!そして、ワイヤーを使わずにFFRを推定する方法?最新のバーチャルFFRについて学びましょう。

PCI の Deep な手技の世界に浸ってみませんか?

CTO-PCIについて学んでみませんか?基礎から3D-wiring、Tip detection さらにはopen vesselでの活用方法などをレクチャー。PCIのDeepな手技について理解し、ステップアップ! CTOもチーム医療が大切。みんなで協力し、成功に導きましょう!メディカルスタッフの理解が成功のカギ!

CVIT心血管インターベンション技師制度 (ITE) 資格更新単位 5単位

インターベンションエキスパートナース (INE) 更新単位 10単位

日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師更新単位 1単位